



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長

(氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	85,831	2.9	3,183	152.4	3,314	131.7	2,016	299.8
24年9月期第3四半期	83,397	△8.4	1,261	△66.5	1,430	△62.9	504	△68.4

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 3,163百万円 (471.1%) 24年9月期第3四半期 553百万円 (△67.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	38.97	—
24年9月期第3四半期	9.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	91,580	57,766	62.6
24年9月期	90,937	55,639	60.8

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 57,286百万円 24年9月期 55,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年9月期	—	10.00	—		
25年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	0.8	4,000	269.1	4,000	224.2	2,300	1,055.5	44.45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	52,450,969 株	24年9月期	52,450,969 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	703,550 株	24年9月期	702,775 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	51,747,879 株	24年9月期3Q	51,748,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権下におけるデフレ脱却に向けた経済政策や金融政策を背景として、企業業績や消費動向に持ち直しの兆しが見えてきました。しかしながら、急速な円安・株高に伴う反動や、米国の金融政策における量的緩和の縮小観測などにより、金融市場はいまだ調整局面にあります。また、成長速度が減速する中国経済や、依然として低迷から脱却できない欧州経済など、国内景気の回復に影響を及ぼす外部要因も存在しております。

このような状況のもと当社グループは、平成23年11月に発表した第四次中期経営計画（3ヵ年）の2年目を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の回復、向上に努めてまいりました。

冷蔵倉庫事業は概ね順調に推移しました。食品販売事業は主力商品の需給悪化より脱し、利益体質を取り戻しました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高85,831百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益3,183百万円（前年同期比152.4%増）、経常利益3,314百万円（前年同期比131.7%増）、四半期純利益2,016百万円（前年同期比299.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(冷蔵倉庫事業)

前連結会計年度より高水準にあった在庫率は、昨年暮れより徐々に低下するとともに荷動きが活発になってまいりました。また、「成長力の強化」に向けた施策のひとつとして前期よりスタートさせました「物流アウトソーシングサービス」は、2年目に入っても堅調に推移し、通関収入や流通加工収入が順調に増加するなど業績に貢献しております。

貨物取扱量の状況は、急速な円安の影響や国内在庫調整により一時的に輸入貨物が減少しましたが、その後の回復基調により、総じて堅調に推移しました。入庫取扱量は約10千トンの微増（前年同期比1.2%増）、出庫取扱量は約50千トンの増加（前年同期比5.9%増）、平均保管在庫量は約70千トンの増加（前年同期比3.2%増）となりました。

また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ(株)においては、前期にフル稼働をしたワンノイ物流センターが引き続き順調に推移し、大幅な増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は16,033百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は3,819百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

(食品販売事業)

前連結会計年度に大きく下落しました水産品、畜産品の相場は底を打ち、その後の緩やかな回復基調から、まだ一部に回復が不十分な商材もあるものの、概ね需給ギャップは解消の方向にあります。その結果、セグメント全体では増収に転換し、利益面では大幅な増益となりました。

品目別の状況でみると、水産品については、前期の水産相場下落の主因となった鮭鱒類は、市況を十分に注視した取組販売により、取扱量は減少したものの利益面では大きく改善、また、サバ・ホタテ等は輸出を中心に取扱量を増加させて売上、利益に貢献、4年連続不漁のウナギは量販店などの需要が大きく減少したため減収減益となり、総体では減収増益となりました。畜産品については、前期低迷したチキンの相場が足元で再度、弱含んでいるものの総じて回復基調にあり、売上、利益に大きく貢献し大幅な増収増益となりました。農産品については、玉葱、馬鈴薯が産地高の影響を受けたため、売上高は前年同期を上回りましたが減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は69,787百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は669百万円（前年同期は667百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ642百万円増加し、91,580百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,293百万円、投資有価証券が1,115百万円増加したことや、商品が1,017百万円、現金及び預金が197百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ1,483百万円減少し、33,814百万円となりました。これは主に借入金が4,138百万円、賞与引当金が438百万円減少したことや、支払手形及び買掛金が2,209百万円、未払法人税等が814百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,126百万円増加し、57,766百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ197百万円減少の2,502百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,695百万円の資金の増加(前年同四半期は677百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益3,314百万円、減価償却費2,598百万円、たな卸資産の減少額1,067百万円及び仕入債務の増加額2,207百万円による資金増加と、売上債権の増加額1,254百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,424百万円の資金の減少(前年同四半期は3,762百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出2,677百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,488百万円の資金の減少(前年同四半期は1,373百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純減額4,340百万円による資金の減少と、配当金の支払額1,034百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成25年5月7日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,700	2,502
受取手形及び売掛金	14,402	15,695
商品	14,003	12,986
繰延税金資産	441	467
その他	985	517
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	32,507	32,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,243	25,243
機械装置及び運搬具(純額)	4,912	4,575
土地	19,382	19,119
リース資産(純額)	212	192
建設仮勘定	8	1,647
その他(純額)	366	340
有形固定資産合計	51,125	51,119
無形固定資産		
のれん	848	734
その他	1,630	1,626
無形固定資産合計	2,479	2,360
投資その他の資産		
投資有価証券	3,616	4,732
長期貸付金	71	121
その他	1,190	1,160
貸倒引当金	△53	△56
投資その他の資産合計	4,825	5,958
固定資産合計	58,430	59,438
資産合計	90,937	91,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,314	7,524
短期借入金	10,509	5,676
1年内返済予定の長期借入金	2,211	2,168
1年内償還予定の社債	47	—
リース債務	69	74
未払法人税等	191	1,006
賞与引当金	619	180
役員賞与引当金	27	20
その他	3,802	3,609
流動負債合計	22,793	20,259
固定負債		
長期借入金	11,242	11,981
リース債務	153	126
繰延税金負債	23	311
退職給付引当金	605	636
役員退職慰労引当金	302	319
資産除去債務	105	105
その他	72	73
固定負債合計	12,504	13,554
負債合計	35,297	33,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,061	35,043
自己株式	△520	△521
株主資本合計	55,716	56,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	572
繰延ヘッジ損益	△28	47
為替換算調整勘定	△197	△30
その他の包括利益累計額合計	△439	589
少数株主持分	362	479
純資産合計	55,639	57,766
負債純資産合計	90,937	91,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	83,397	85,831
売上原価	76,776	77,531
売上総利益	6,620	8,299
販売費及び一般管理費	5,359	5,116
営業利益	1,261	3,183
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	83	88
助成金収入	182	3
保険配当金	28	29
固定資産売却益	1	43
その他	152	211
営業外収益合計	468	392
営業外費用		
支払利息	216	181
固定資産除売却損	32	55
その他	50	25
営業外費用合計	299	262
経常利益	1,430	3,314
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
過年度固定資産税還付金	84	—
特別利益合計	87	—
税金等調整前四半期純利益	1,517	3,314
法人税、住民税及び事業税	789	1,351
法人税等調整額	220	△108
法人税等合計	1,009	1,242
少数株主損益調整前四半期純利益	507	2,071
少数株主利益	3	54
四半期純利益	504	2,016

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	507	2,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	786
繰延ヘッジ損益	200	75
為替換算調整勘定	14	229
その他の包括利益合計	46	1,091
四半期包括利益	553	3,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	541	3,045
少数株主に係る四半期包括利益	12	117

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,517	3,314
減価償却費	2,623	2,598
のれん償却額	136	114
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△384	△438
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40	28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	4
受取利息及び受取配当金	△102	△104
支払利息及び社債利息	216	181
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,377	△1,254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,615	1,067
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,481	2,207
未払費用の増減額 (△は減少)	570	△99
その他	319	675
小計	2,175	8,305
利息及び配当金の受取額	102	104
利息の支払額	△218	△181
法人税等の支払額	△1,382	△533
営業活動によるキャッシュ・フロー	677	7,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,383	△2,677
有形固定資産の売却による収入	2	413
投資有価証券の取得による支出	△103	△3
投資有価証券の売却による収入	9	—
子会社株式の取得による支出	△23	—
貸付けによる支出	△307	△221
貸付金の回収による収入	192	115
その他	△150	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,762	△2,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,260	△5,036
長期借入れによる収入	1,100	2,676
長期借入金の返済による支出	△1,777	△1,980
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,034	△1,034
少数株主への配当金の支払額	△2	—
社債の償還による支出	△117	△47
その他	△55	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,373	△5,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,710	△197
現金及び現金同等物の期首残高	4,563	2,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,853	2,502

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,160	68,228	8	83,397	—	83,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,280	—	36	1,316	△1,316	—
計	16,440	68,228	45	84,714	△1,316	83,397
セグメント利益又は損失(△)	3,436	△667	11	2,780	△1,519	1,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,519百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,033	69,787	10	85,831	—	85,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,146	—	33	1,180	△1,180	—
計	17,180	69,787	43	87,011	△1,180	85,831
セグメント利益	3,819	669	11	4,501	△1,317	3,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,317百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。